

令和7年度

教育委員会の事務の点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和7年度教育委員会の事務の点検及び評価を行ったので、別紙のとおり報告書を公表する。

令和8年6月18日

中種子町教育委員会

I 教育委員会の事務の点検・評価の概要について(令和7年度分)

1 地方教育行政法等の改正

平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により, 第26条において, 「教育委員会は, 毎年, その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い, その結果に関する報告書を作成し, これを議会に提出するとともに, 公表しなければならない」ことが規定された。

また, この点検及び評価を行うに当たっては, 「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」(同条第2項)と規定された。

2 目的

教育行政運営の中において, 施策や事業の「Plan(計画)」→「Do(実行)」→「Check(点検・評価)」→「Action(改善)」というマネジメントサイクルを確立するとともに, 一連の情報をわかりやすい形で町民に公表することにより, 次の事項の実現を図る。

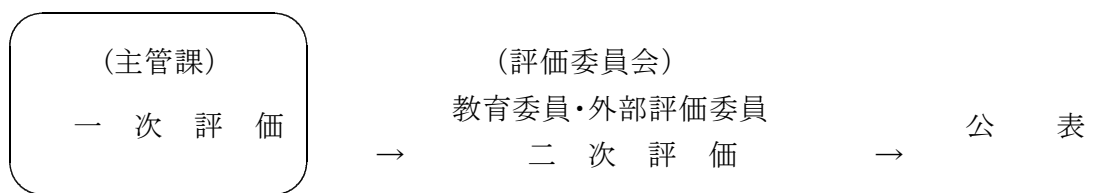
- ア 行政の説明責任の徹底
- イ 効率的で質の高い行政の実現
- ウ 成果重視の行政の実現

3 対象施策及び事業

令和7年度の対象施策・事業については, 12施策13事業。

中種子町の教育行政を運営する中において, 教育, 文化, スポーツの振興策を構成する施策及び事業を点検・評価の対象とした。

4 点検・評価のフロー



5 点検・評価の経過等

- 令和8年1月中旬……………対象事業の選定
- 令和8年4月上旬……………自己評価(一次評価)
- 令和8年5月21日(木)……………評価委員会・教育委員会(二次評価)
- 令和8年6月下旬……………議会報告・公表(町ホームページ)

II 事務の点検・評価の内容及び結果について

1 点検・評価の対象とする施策及び事業について

中種子町の教育行政を運営する中において、教育、文化、スポーツの振興策を構成する32施策及び112事業のうち、重要と思われる12施策13事業を点検・評価の対象とした。

I 学校教育の充実

1 将来を見据えて、自立し、たくましく生き抜く力を育むキャリア教育の推進
【施策】(コード101) 【事業】

- | | | |
|---|---|--|
| (1)将来を見据えて、自立し、たくましく
生き抜く力を育むキャリア教育の推進 | — | ① 自立的によりよく生きる力の育成
② 確かな学力の定着
③ 確かな学力を活用できる能力の育成
④ 学習意欲を促す評価の工夫と活用 |
|---|---|--|

2 Society5.0時代を生き抜く力を育むための、ICT教育の積極的な推進
【施策】(コード102) 【事業】

- | | | |
|--|---|---|
| (1)Society5.0時代を生き抜く力を育む
ための、ICT教育の積極的な推進 | — | ① 更新時期に応じたICT環境の更新
② 個別に最適で効果的な学びの支援
③ 遠隔・オンライン教育の推進
④ 校務の効率化の推進
⑤ 情報モラル教育の推進 |
|--|---|---|

3 児童生徒一人一人に寄り添い、持続可能で多様性と包摂性のある社会の創り手を育む、誰一人取り残すことのない教育の推進

- | | | |
|---|---|---|
| 【施策】(コード103)
(1)児童生徒一人一人に寄り添い、持
続可能で多様性と包摂性のある社
会の創り手を育む、誰一人取り残す
ことのない教育の推進 | — | 【事業】
① 魅力ある学校づくりの推進
② 特別支援教育の充実
③ 人権同和教育の充実
④ キャリア教育(進路指導)の充実 |
|---|---|---|

4 規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
【施策】(コード104) 【事業】

- | | | |
|-----------------------------------|---|---|
| (1)規範意識を養い、豊かな心と健や
かな体を育む教育の推進 | — | ① 心の教育の推進
② 生徒指導の充実
③ 保健体育・安全・給食指導の充実 |
|-----------------------------------|---|---|

5 教職員の資質向上と開かれ信頼される学校づくりの推進
【施策】(コード105) 【事業】

- | | | |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|
| (1)教職員の資質向上と開かれ信頼
される学校づくりの推進 | — | ① 校内研修の充実
② 管理職研修の充実
③ 教職員研修の充実 |
|----------------------------------|---|---------------------------------------|

【 I 概要, II 対象事業】

- ④教育研究の充実
- ⑤学校経営の充実
- ⑥幼・小・中・高・特別支援学校との連携の充実
- ⑦地域が育む「かごしまの教育」県民週間の推進

6 教育環境の整備・充実

【施策】(コード106)

(1)学校施設・設備等の充実

【事業】

- ①学校施設の補修・整備
- ②学校教材・備品の充実
- ③教職員住宅補修・整備
- ④学校施設台帳の整備
- ⑤その他(地域スポーツ・文化活動推進事業)

7 学校給食の充実

【施策】(コード107)

(1)学校給食の充実

【事業】

- ①安心・安全な食の供給と食育教育の充実
- ②給食センターの管理運営の充実と職員の資質向上

II 社会教育の充実

1 総合的な生涯学習の整備とあらゆる場面を活用した連携・協働による学習機会の拡充

【施策】(コード201)

1-1 総合的な生涯学習の整備

- (1)推進体制の整備
- (2)生涯学習施設の利用促進
- (3)指導体制の整備と学習情報の提供

1-2 あらゆる場面を活用した連携・協働による学習機会の拡充

【事業】

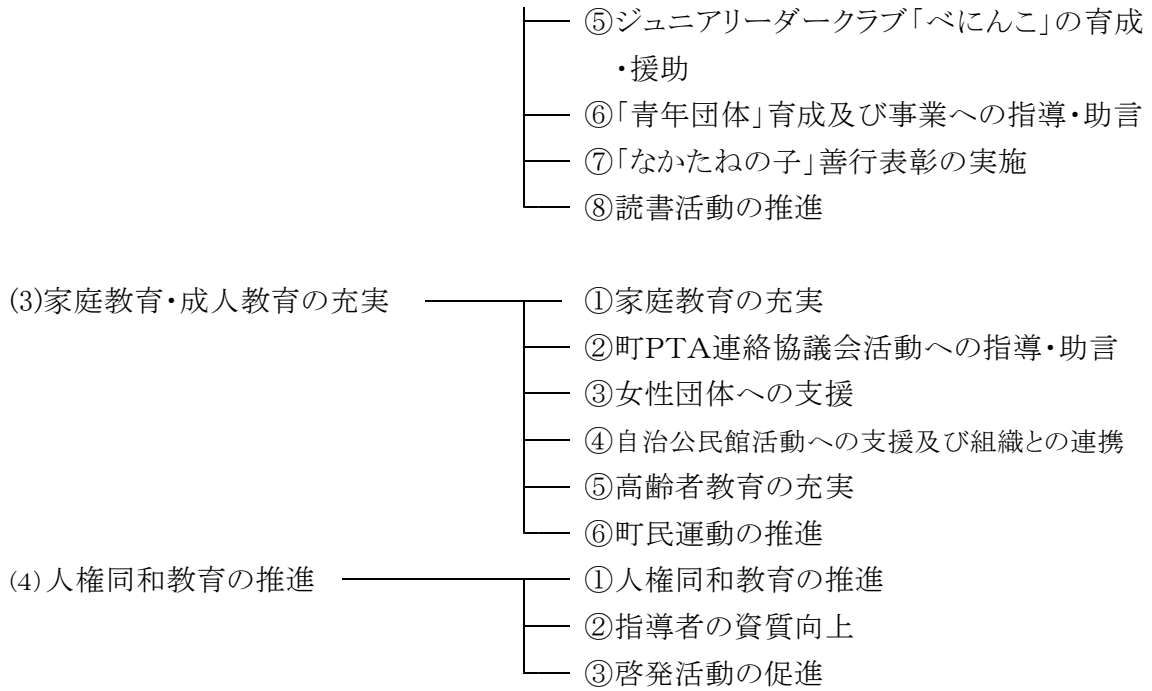
(1)指導体制の充実

- ①生涯学習推進体制の充実
- ②学習情報提供と相談体制の充実
- ③視聴覚ライブラリーの活用促進
- ④社会教育関係団体の育成
- ⑤指導者の育成

(2)青少年教育の充実

- ①「郷土に学び・育む青少年運動」の推進
- ②子ども会活動の育成・援助
- ③「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充
- ④地域学校協働活動の推進

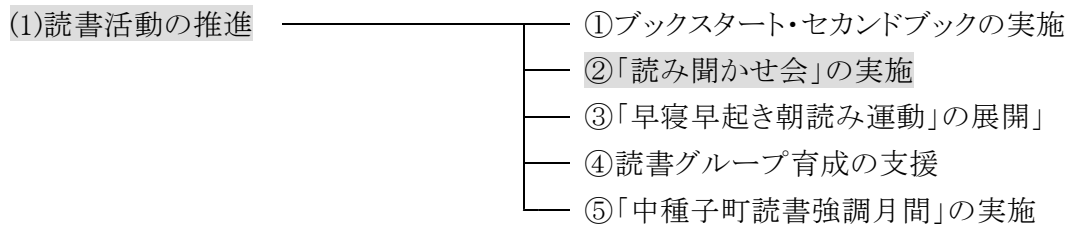
【Ⅰ 概要, Ⅱ 対象事業】



2 町子ども読書活動推進計画具現化のための読書活動の推進

【施策】(コード202)

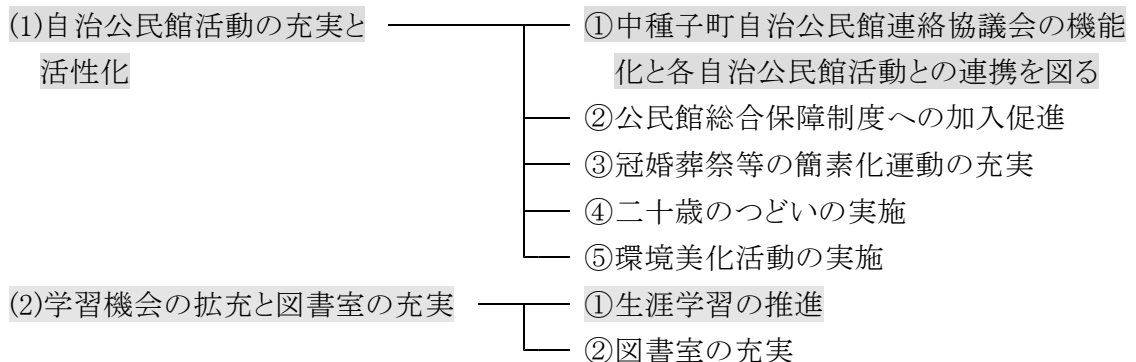
【事業】



3 公民館活動及び図書室の充実

【施策】(コード203)

【事業】



4 ふるさと文化の創造と保護

【施策】(コード204)

【事業】

- (1)芸術文化活動の促進
 - ①創作活動の奨励
 - ②鑑賞活動の充実
- (2)種子島こりーなの活用と自主事業の充実
 - ①自主文化事業の拡充
 - ②貸館事業の奨励と利用率向上
 - ③音響, 照明, 舞台技術スタッフの養成・確保
 - ④種子島こりーなの機能と管理運営の充実
- (3)文化財の保存・活用
 - ①指定文化財の保護, 保存と活用
 - ②民俗芸能の保存・伝承・公開
 - ③埋蔵文化財の保存・活用
 - ④歴史民俗資料館の管理・運営

5 生涯にわたる健康づくりとスポーツ活動の一体的な推進

【施策】(コード205)

【事業】

- (1)生涯スポーツ活動の促進
 - ①体力づくりとスポーツの生活化
 - ②壮年・婦人・実年層のスポーツ活動の促進
 - ③スポーツ交流の促進
- (2)指導者の養成と指導体制の確立
 - ①スポーツ推進委員等の研修機会の充実
 - ②スポーツ少年団の育成・指導
 - ③スポーツ団体・組織の充実
 - ④よいらーいきスポーツクラブ指導者の養成
- (3)競技スポーツの底辺拡大と競技力の向上
 - ①競技力の向上・充実
 - ②各種大会の開催
 - ③各種スポーツの安全管理の強化
- (4)施設の有効活用と適切な維持管理
 - ①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用
 - ②学校体育施設開放事業の促進
 - ③施設・設備の整備
- (5)よいらーいきスポーツクラブの推進
 - ①各スポーツ教室の開講
 - ②スポーツクラブ会員の拡充

III 教育委員会機能の充実と活性化

1 教育委員会機能の充実

【施策】(コード301)

(1)教育委員の研修機会の充実

町内各小・中学校の計画訪問の充実を図るとともに各教育施設, 文化財等の視察を行う。地教連・県教連との連携を図り, 研修機会を通して資質向上を図る。

(2)定例教育委員会の機能強化を図るため, 委員会の活動内容の広報に努める。

(3)教育支援体制の整備・充実

(4)町長部局との連携強化

2 学校財務事務の適性化

【施策】(コード302)

【事業】

(1)備品関係

- ①備品台帳の整備, 現品との符号点検
- ②備品の適正な保管・管理と有効活用
- ③備品の見直しと更新(廃棄処分の申請等適正な事務処理)

(2)諸帳簿等の整備

- ①電話使用簿の公用・私用の明確化と適正使用
- ②学校徴収金の適正処理と校内監査体制の確立
- ③学校予算の効果的執行
- ④学校の施設・設備を充実するための定期的実態調査
- ⑤教具・教材及び教育機器の定期点検と見直し
- ⑥学校図書の定期点検と台帳整備

(3)事務事業等計画

- ①転入教職員宣誓式及び歓迎式
- ②令和7年度学校予算配分説明会
- ③令和7年度教育委員会学校訪問
- ④奨学資金貸付委審査会
- ⑤令和7年度学校教育関係統計調査
- ⑥令和7年度学校施設台帳の整備
- ⑦令和6年度決算審査
- ⑧令和6年度決算特別委員会
- ⑨令和7年度学校備品監査及び定期監査
- ⑩令和8年度学校当初予算編成説明会
- ⑪議会総務文教常任委員会所管事務調査対応

Ⅱ 施策及び事業の目的

※事業費の予算額は、令和8年3月31日現在

〔施策コード〕 施策名	施策目的	事業名	事業目的	事業費(千円) R7予算額
〔101〕 将来を見据えて、自立し、たくましく生き抜く力を育むキャリア教育の推進	小・中・高等学校の連携を密にし、児童生徒一人一人に基礎的・基本的内容の確実な定着を図るとともに、能力や個性を重視した学習指導を展開し、創造性や自己教育力を育てる。	②確かな学力の定着	各種学力検査結果の分析を行い、各学校の課題に応じた指導法の改善や共通実践項目を設定し、児童生徒の基礎的・基本的内容の定着を図る。 町内児童生徒の学力の現状を把握し、学力向上を図るために小・中・高等学校の連携を図る。	—
〔103〕 児童生徒一人一人に寄り添い、持続可能で多様性と包摂性のある社会の創り手を育む、誰一人取り残すことのない教育の推進	児童生徒の多様性を認め、一人一人の教育的ニーズに的確に応える指導が提供できるようにするために児童生徒の実態把握に努める。また、生徒指導提要に示されているように発達支持的生徒指導を推進し、自己肯定感・自己有用感の向上を見据えた分かる授業づくりに努める。 あわせて、人権意識についての正しい認識をもち理解を深めさせるとともに、自分の進路を選択・決定できるような進路指導を推進する。	②特別支援教育の充実	児童生徒の特別な教育的ニーズを的確に把握し、適切な支援や助言を行うことにより個々の児童生徒の適切な発達を促す。	29, 101
〔106〕 教育環境の整備・充実	長期振興実施計画、学校施設等長寿命化計画に基づき、安心安全な教育環境作りを進めるため、校舎・教職員住宅改修・補修工事、学級編成(複式・特別支援学級)に対する備品等の充実及び教育機器の年次計画に基づいた購入等、教育条件・環境の整備に努める。	①学校施設の補修・整備	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす場所である。安心安全な教育環境を確保するため、危険箇所の整備を行う。	80, 726
		③教職員住宅補修・整備	築年数が長く、シロアリ被害などで老朽化が進み、危険な住宅が増えてきたので教職員の住環境整備を図るため改修を行う。	4, 585
〔107〕 学校給食の充実	学校給食は、栄養バランスのよい食事によって子どもたちの心身の健康や発育、発達を支えていることはもとより、食に関する指導を効果的にすすめるための「生きた教材」としての役割を担っている。 また、地場産物や郷土料理、行事食を取り入れており、地域文化や伝統に対する理解と関心を深める。	①安心・安全な食の供給と食育教育の充実	各小中学校及び特別支援学校において、栄養教諭が中核となり、食に関する指導を行うとともに、給食指導担当者や食育の日に食に関する資料提供を行う等、関係者が連携して体系的・継続的な食育の推進を図る。また、「ワイワイ畑」等地元生産者と連携・協働し、学校給食における地場産物の活用及び郷土料理の歴史やゆかり、食材などを学ぶ取組により食育の推進を図る。	—
〔201〕 青少年教育の充実	家庭や地域の教育機能の活性化を図り、実践活動を通して、豊かな心・ふるさと意識を持った青少年の育成と自主的な活動ができる青少年団体の育成に努める。	③「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充	多くの人々との交流を図り、様々な体験を行うことで、子どもたちの個性や創造性をさらに深め、健康で心豊かな人間形成を目指すことを目的とする。	285

<p>[202] 読書活動の推進</p>	<p>読書は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かなものにするとともに、人生をより深く生き抜く力を身に付けていく上で欠くことができないものである。また「やさしさ、いたわり、思いやり、強さ、協調性」などを醸成する上でも、高い教育力を持っている。</p> <p>時間・場所を問わず自らの意志で学習できる機能性を活用し、家庭・学校・地域において、読書活動を通じた青少年の健全育成と、学習機会の少ない若年保護者の意識高揚を図り、「中種子町子ども読書推進計画」の具現化を進めるための事業を推進する。</p>	<p>②「読み聞かせ会」の実施</p>	<p>読み聞かせやお話の実演を通して、学習の基盤を築くとともに、本への関心を高め心のふれあいや想像力の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>54</p>
<p>[203] 自治公民館活動の充実と活性化</p>	<p>生涯学習拠点としての中央公民館の円滑な運営・充実を図るとともに、地域住民の活動拠点である地区・自治公民館の活動の活性化を促進するために活動の推進を図る。</p>	<p>①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る</p>	<p>町内の自治公民館が連携し、地域における公民館活動を充実・強化して時代に即応した教育、産業、文化の振興を図り、共生・協働の自主的な活動の推進並びに明るく温もりに満ちた郷土づくりを推進することを目的とする。</p>	<p>300</p>
<p>[203] 学習機会の拡充と図書室の充実</p>	<p>情報・学習資料の収集、整理、提供の機能を図書室に備え、生涯学習の中心的役割を果たすための開かれた公民館活動を推進する。</p>	<p>①生涯学習の推進</p>	<p>高齢者が集い、学習や活動を通して親睦を深めながら、健康づくり・生きがいづくりにつなげていくことを目的とする。</p>	<p>72</p>
<p>[204] 種子島こりーなの活用と自主事業の充実</p>	<p>町民の多様な芸術文化活動を支援するとともに、芸術文化団体の育成を図り、文化意識の高揚に努め、自主的で個性豊かな創作活動を促進する。</p>	<p>①自主文化事業の拡充</p>	<p>種子島こりーなの効率的な運用と自主文化事業実施による鑑賞機会の拡充を図る。</p>	<p>19, 887</p>
<p>[204] 文化財の保存・活用</p>	<p>貴重な文化財を次世代に引き継ぐ個性豊かなふるさと文化の創造を推進するため、歴史的な文化遺産や伝統文化の継承、埋蔵文化財の調査・保存・活用や立切遺跡の国指定史跡に伴う普及啓発活動を推進する。</p>	<p>①指定文化財の保護、保存と活用</p>	<p>国・県・町指定の文化財について、その保存及び活用のために必要な措置を講じ、郷土文化の向上に資することを目的とする。</p>	<p>499</p>
<p>[205] 施設の有効活用と適切な維持管理</p>	<p>太陽の里・中央運動公園を積極的に整備・活用し、より専門的なスポーツ団体の誘致及び町民のニーズ・高度化に対応しながら生涯にわたる健康づくり・スポーツ活動を一体的に促進し、「スポーツの町づくり」を推進する。</p>	<p>①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用</p>	<p>「スポーツの町づくり」を目指して、施設を有効利用し、競技力の向上・健康づくり・青少年健全育成に資するため、県内外のスポーツ選手の合宿を誘致する。</p>	<p>5, 050</p>
<p>[205] よいらーいきスポーツクラブの推進</p>	<p>多様化するスポーツ活動に対応するため、各スポーツ教室の充実を図るとともに、会員の拡充を推進する。</p>	<p>②スポーツクラブ会員の拡充</p>	<p>誰もが、いつでもどこでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を図る。</p>	<p>8, 700</p>

Ⅲ 点検・評価の結果について

(1) 事業評価について

ア 評価の観点

事業の点検・評価は、事業の必要性、事業の進捗及び事業の効率性の観点で行った。

- ・必要性 [A: 適合, B: 概ね適合, C: 不適合]
- ・進捗状況 [A: 順調, B: 概ね順調, C: 要改善]
- ・効率性 [A: 効率的, B: 概ね効率的, C: 要検討]

イ 評価の観点の状況

施策コード	事業名	必要性	進捗状況	効率性
101	② 確かな学力の定着	A	A	C
103	② 特別支援教育の充実	A	C	A
106	① 学校施設の補修・整備	B	B	A
	③ 教職員住宅補修・整備	A	B	A
107	① 安心・安全な食の供給と食育教育の充実	A	A	A
201	③ 「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充	A	B	A
202	② 「読み聞かせ会」の実施	A	A	A
203	① 中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る	A	A	A
	① 生涯学習の推進	A	A	A
204	① 自主文化事業の拡充	A	B	B
	① 指定文化財の保護、保存と活用	A	B	—
205	① スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用	B	B	B
	② スポーツクラブ会員の拡充	B	B	B

施策コード	事業名	点検・評価	成果指標	達成状況
101	② 確かな学力の定着	確かな学力の定着を図ることは、児童・生徒の将来の職業選択の幅を広げるとともに、町の活性化や発展に寄与することに直結する。令和7年度は、前年に引き続き町内の小学校5・6年生全員を対象に様々な職業の方から講話を聞く機会を設けることができた。 課題として、多様な検査を実施しているが、受検する児童生徒の負担や分析する教職員の負担も大きいことから、事業を精査するなど改善して事業の効率性を高めていく必要がある。	各種学力調査 目標値 8校 実績値 8校 研究実践，研修会 目標値 5回 実績値 5回	100.0%
103	② 特別支援教育の充実	特別支援教育に対する理解の深化及び幼児期から就学期への円滑	支援員配置数 目標値10人	93.3%

		<p>な接続が図られた。</p> <p>特別な支援が必要な児童生徒の情報を共有化し、乳幼児期から小・中・高と継続した支援体制を構築できた。</p> <p>通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制を構築できた。</p> <p>今後は児童生徒が安心して過ごせる多様な居場所を保障するために、環境整備が必要である。</p>	<p>実績値 8人</p> <p>教育支援委員会・就学教育相談会回数</p> <p>目標値 5回</p> <p>実績値 6回</p>	
106	① 学校施設の補修・整備	<p>油久・南界・岩岡小学校特別教室空調設備新設工事・南界小学校体育館床改修工事、各小中学校施設修繕費及び樹木伐採が行われ、児童生徒、教師及び地域住民が安心して利用できる学校施設の整備が図られた。また、学校施設等長寿命化計画に基づき学校施設の長期的な視点から求められる機能や役割を考慮した長寿命化改修、財政負担等の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実が図られた。</p> <p>課題として、学校施設も年々老朽化していくので、危険箇所から、順次改修を行い、安心・安全な教育環境の整備を図っていく。</p>	<p>学校施設改修事業</p> <p>事業目標値 80,726千円</p> <p>事業実績値 80,726千円</p>	100.0%
	③ 教職員住宅補修・整備	<p>教職員住宅は全体的に築年数が古く、建て替えが必要な住宅もあるが、高額な予算を必要とするため、計画的な住宅整備が必要となる。老朽化した施設の改修、補修を実施した事により、居住環境が改善された。</p> <p>引き続き住宅の良好な維持管理に努め、教職員の安心・安全な住環境の整備を図る。</p>	<p>各学校教職員住宅改修・補修事業</p> <p>事業目標値 4,585千円</p> <p>事業実績値 4,585千円</p>	100.0%
107	① 安心・安全な食の供給と食育教育の充実	<p>学校給食では、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達と健康の増進、体位の向上が図られる。</p> <p>給食指導では、給食の時間における共同作業を通して、責任感や連帯感を養うとともに、学校給食に携わる人々への感謝の気持ちなど</p>	<p>研修，広報啓発，イベント・交流回数</p> <p>目標値 93回</p> <p>実績値 100回</p>	107.5%

		<p>豊かな心を育み，好ましい人間関係の育成が図られる。</p> <p>食に関する指導においては，給食に使用される食品を通して，食料の生産，流通，消費について学習し，献立を活用しながら，食品の種類，産地や栄養的な特徴を学ぶことができる。また，地場産物を積極的に活用することにより，自分の住んでいる地域への愛着を育むとともに，生産者の工夫や努力について考え，地域の産業等の理解を深めるほか，食料輸送にかかる環境問題，食料自給率等について考える機会となる。</p> <p>成果指標についてはそれぞれの開催回数を根拠とした。</p>		
201	③「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充	<p>体験不足や人間関係の希薄化が指摘される中，多くの人々と出会い，体験活動や交流を図ることで，思いやりや自主性，社会性，規範意識を育てるとともに，仲間と協力して行動することの大切さを学ぶ機会となった。</p> <p>・親子ふれあいウォーク(中止) ・なかたねチャレンジ・キッズ延べ156名(目標:209名)</p> <p>なお，なかたねチャレンジ・キッズや親子ふれあいウォークにおいて，参加者が目標に達していない。今後も魅力的なイベントになるよう内容の充実を図る。</p> <p>また，天候や開催時期についても検討していきたい。</p>	参加者数 目標値209人 実施値156人	74.6%
202	②「読み聞かせ会」の実施	<p>子どもの読解力の向上・想像力の育成など，様々な面での子どもの成長と発達を促すことができる。また，読み聞かせ会をきっかけに，子どもたちが図書室へ出向き，本を手取るなど読書に興味を持つよい機会となっている。</p> <p>(※野間幼稚園，中央保育所，町内小学校7校で開催)</p>	実施回数 目標値9回 実施値9回	100.0%
203	①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動と	<p>連絡協議会は，各自治公民館からなる組織で，町全体の簡素化運動・各自治公民館運営等の助言や，自治公民館長の資質の向上の</p>	活動回数 目標値24回 実施値21回	87.5%

	の連携を図る	<p>ための研修会等を行いながら、豊かな町づくりを目指している。また、社会教育・生涯学習を末端から推進していく上でも重要な組織である。</p> <p>女性部においては、「見舞い返しは遠慮させていただきます」という一文が入ったお見舞封筒を作成し、簡素化運動の啓発と推進の一翼を担っている。</p> <p>課題として少子高齢化により集落機能の低下や組織の衰退が懸念される。</p>		
	①生涯学習の推進	<p>仲間づくりや生きがいがづくり、心身の健康維持等に重要な役割を果たしており、学級生も毎月1回の開講を楽しみにしている。また、高齢者の活力が地域に活気をもたらし、地域全体の活性化につながる。</p>	<p>活動回数 目標値16回 実施値16回</p>	100.0%
204	①自主文化事業の拡充	<p>種子島こりーなを有効に活用し、年代・教育的効果・芸術性・情操性を考慮した選定に基づく自主文化事業の実施は、町民の芸術的で創造性あふれる文化活動を促し、ゆとりある生きがいに満ちた活力の源となる。</p> <p>令和7年度の自主文化事業については、おおむね計画どおり実施することができた。</p> <p>かごしま子ども芸術センター巡回事業による子ども向け舞台劇は、6月に実施し入場64人。7月に実施したみやまふれあいコンサートでは、霧島国際音楽祭出演アーティストによる質の高い音楽鑑賞の時間を提供できた。毎年実施している、日高薔画伯絵画展と同時開催のふるさとの風景画作品展は2月に実施し、多数の方に作品を鑑賞いただけた。年3回を予定した映画上映は、インフルエンザの流行による延期もあり、年2回の実施となったが、さまざまな作品を町民が鑑賞できる機会を提供することができた。また、令和7年が種子島こりーなが開館から30年であることを記念して、1月にスペシャル音楽ライブを開催。3組の著名アーティストによる音楽公</p>	<p>入場者数 目標1,720人 実績2,948人</p>	171.4%

		<p>演に島内外から多数の来場があり満席近い入場となり好評を得た。今後も公演内容について関係機関と協議しながら多種多様な舞台芸術作品を町民へ提供していきたい。</p> <p>課題として、有料・無料・公演内容に限らず、減少する町内、島内人口や公演内容によっては好みが見られる傾向など集客が難しい面がある。また、離島であるが故に、公演では出演関係者の移動手段や宿泊等の確保が難しかったり、機材の輸送等にコストがかかる面もある。こりーなが開館から30年を経過し、経年劣化や潮風による塩害等で各箇所等に傷みが見られ、維持管理に努めているが継続的に修繕や改修等も必要である。</p>		
	① 指定文化財の保護、保存と活用	<p>指定文化財の周辺環境整備を行い、見学しやすい環境になるよう心がけた。また、広報紙に毎月「資料館だより」を掲載し、町民へ情報発信を行った。</p> <p>今年度は戦後80年という節目の年であったためか、増田校区の戦跡見学の件数が例年より多く、見学者は熱心に史跡の見学を行っていた。積極的に質問も出され、丁寧にわかりやすい回答を心がけた。戦争の悲惨さ、平和の尊さを学ぶことができたのではないかと考える。</p> <p>古市家住宅では、5月に「五月人形展」、2月から3月にかけて「ひなまつり」を行い、多くの方にご来場頂いた。</p> <p>課題として、少子高齢化により、有形・無形文化財の保存・伝承が難しくなっている。特に無形民俗文化財については、後継者・担い手不足により消滅の危機に瀕している。有形文化財についても経年劣化等により、年次的・計画的に補修が必要な状況である。文化財の重要性・意義等を周知していくことが重要である。</p>	<p>指定文化財の保護、保存と活用に関する事業件数</p> <p>目標値32件 実施値32件</p>	100.0%
205	① スポーツイベントの開催や誘致による中央運動	<p>競技力の向上・健康づくり・青少年健全育成に資する。</p> <p>充実した施設の有効利用を図り、</p>	<p>合宿誘致人数</p> <p>目標値 3,500人</p>	114.7%

公園の積極的な活用	<p>特色ある町づくりに努める。</p> <p>スポーツの振興による町民の健康保持の増進を図る。</p> <p>合宿を誘致することで施設の有効利用，また競技者や指導者の資質向上に期待ができる。さらに旅館業やスーパー等への経済効果もある。</p> <p>課題として，施設の老朽化に伴い，各施設・設備の年次的な点検整備が必要である。</p>	<p>実績値</p> <p>4,016人</p>	
② スポーツクラブ会員の拡充	<p>スポーツクラブへ加入し運動する機会が増えることにより，町民の健康増進が図られる。</p> <p>スポーツクラブの特徴として，自分の好きな運動・スポーツプログラムに，自分のペースで参加することができるや，コーチの指導が必要な場合は「教室」へ，個人または友人と一緒に気楽に身体を動かしたい場合は「サークル」へ，個々のニーズに合わせて，どのプログラムにも自由に参加することが可能である。また，各プログラムへは会員証持っていくだけで簡単に参加が可能である。</p> <p>次年度も会員確保に努め，会員のニーズに応えられるようクラブ運営に努めます。</p>	<p>クラブ会員数</p> <p>目標値</p> <p>600人</p> <p>実施値</p> <p>500人</p>	83.3%

IV 点検・評価の対象施策及び事業について

〔施策コード〕 施策名	事業名	意見・提言の内容	対応等
〔101〕 将来を見据えて、自立し、たくましく生き抜く力を育むキャリア教育の推進	②確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種で頑張っている卒業生など招いての講演をやってみてはどうか、夢を持たせる指導も必要と思う。 ・各学校が研究したことを他校でも共有できれば、より効率的で負担軽減にもなるのではないかと考える。 ・子どもたちや教職員に無理なく、成果が上がるよう期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組が継続していけるよう、研修内容の充実に努めていく。 ・児童生徒や教職員の負担にならないよう、事業を精査するなど事業の効率性を高めていきたい。
〔103〕 児童生徒一人一人に寄り添い、持続可能で多様性と包摂性のある社会の創り手を育む、誰一人取り残すことのない教育の推進	②特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各ご家庭や関係機関と連携し、児童生徒の多様性に十分に対応していただきたい。 ・支援員不足により支援を必要とする児童生徒が安全な環境で学べるか心配。 ・一人一人に寄り添った教育により成長した様子には感動する。その教育がスムーズに実行できるよう地域・保護者とも協力することが大切と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が安心して過ごせる多様な居場所を保障するため、関係者・関係機関とも連携して、安全な環境整備に努めていきたい。
〔106〕 教育環境の整備・充実	①学校施設の補修・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教職員が安心・安全に学校生活が送れるよう、優先順位を慎重に検討し、できる限りの対応をお願いしたい。 ・学校は安全な場所であればならない、定期的な点検を要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とも連携を図りながら、継続して定期的な施設点検を実施し、計画的に学校施設の環境整備に努めていきたい。
	③教職員住宅補修・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・居住環境は、先生方の健康にも影響があると考え、安心・快適な生活が送れるよう、環境をしっかりと整えてあげることで対応をお願いしたい。また、計画的な改修をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が教育業務にまい進してもらうために、計画的な改修・修繕を行い、快適な住環境づくりに努めていく。
〔107〕 学校給食の充実	①安心・安全な食の供給と食育教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な食の供給に取り組み感謝している。 ・郷土料理やイベント給食など、食を通じてふるさとや世界について興味を持てるよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒を第一に考え、今後も栄養教諭による「食」に関する指導、郷土料理の歴史や食材等の学習、また食に対する興味を持てる取組など、

		な取組が良い。栄養教諭の食に関する指導と各教科の授業が関連付けられるとさらに面白いと感じた。	充実した給食の提供に努める。
[201] 青少年教育の充実	③「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジキッズでは魅力的な体験活動を提供できているのではないかと評価できる。今後も、ニーズにあった体験活動が提供できるよう努めて頂きたい。 ・目標人数に達していないが、すばらしい事業であり今後参加者の確保ができることを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種子島ならではの体験活動の内容など、今後もより充実した活動を提供できるよう検討しながら、子どもたちの参加を増やしていきたい。
[202] 読書活動の推進	②「読み聞かせ会」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校でも、高学年と低学年に分けるなど、対象をしぼって内容を精選しても効果的ではないかと考える。 ・読み聞かせは子どもたちの情操教育に大きな影響力を持つと思う。 ・本に触れることはすばらしいことで今後も継続を希望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ会は、読書に興味を持つよい機会となっているため、もっと効果的な内容となるよう、趣向を凝らした取組なども検討し継続的に実施していきたい。
[203] 自治公民館活動の充実と活性化	①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯教育のサポーターや人材を育成し、地域の学びを支えるような仕組みが出来ればよい。 ・少子高齢化により集落機能は低下しているため、対策が必要。 ・各集落の取組を広く紹介できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化、高齢化により集落組織そのものの存続も危ぶまれてきている状況の中、対応が難しいところもあるが、各自治公民館と連携・協力し、資質向上のための研修会や魅力ある活動の推進を図っていく。
[203] 学習機会の拡充と図書室の充実	①生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級を楽しみにしている方が多く、今後もいろいろな活動計画を期待する。 ・図書室の充実を図るため、町民へ本などの紹介も大切と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も高齢者が集い、学習や活動を通して親睦を深めながら、健康づくり・生きがいづくりにつなげていけるよう努めていきたい。また図書室の充実が図れるよう検討したい。
[204] 種子島こりーなの活用と自主事業の充実	①自主文化事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・普段町内で映画は見れないので今後も楽しみである。 ・施設の改修など費用も掛かるが少しでも改善できることを要望する。 ・島で唯一のコンサートホールであり、島内の方々も利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・こりーなも建設から30年を経過し、施設・設備も老朽化のため改修の必要箇所が出てきている。島内唯一の文化ホールとして島民の利用促進を図るため、計画的な改修の実施に努めたい。また今後も

		しやすい方法も検討していただくとよい。	1市2町の関係機関と協議しながら多種多様な舞台芸術作品を島民へ提供できるよう努める。
[204] 文化財の保存・活用	①指定文化財の保護、保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・特定地域の無形民俗文化財も多く、保存活動をお願いしたい。 ・少子化により無形文化財の伝承が難しくなり、中種子町の歴史を繋いでいくため、対応をお願いする。 ・文化財は「中種子町民の宝」という意識を高めることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存活動や伝承は、まず地元の方々がその文化財の重要性や希少性を認識することと思われるため、文化財の啓発に取り組んでいく必要がある。
[205] 施設の有効活用と適切な維持管理	①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動によって、子どもたちが本格的な競技を見れる機会が増えた。 ・青少年健全育成、競技力向上、経済効果も担い、より充実した事業を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等合宿誘致推進協議会や各競技部と連携しながら、今後も県内外の合宿誘致活動を強化していく。
[205] よいらーいきスポーツクラブの推進	②スポーツクラブ会員の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブへの加入者は毎年減っている。人口減少だけが原因だとは考えにくい。原因を分析し、運営方法や広報・周知の方法を検討頂きたい。 ・会員確保の維持をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化で子ども・若年層の母数が減る一方、高齢会員の比率が上がり、新規の若年層会員の獲得が追いついていない、といった加入者減少の主な要因を整理しながら、広報周知の見直しも図りながら会員確保に努めていく。

まとめ(全体意見等)

令和7年度教育委員会の12施策13事業について、点検・評価を行いました。

各事業の必要性・進捗状況については、それぞれに課題もありますが、おおむね順調に推移しているものと思われます。

目標値に達していない事業については、その課題を十分検討した上で、事業の必要性、効率性を考慮し、事業内容の見直しを図る必要があると思います。

今後についても、中種子町の教育行政発展のため、学校教育及び生涯教育双方の観点から様々な意見や情報等を交歓しながら、各種事業を推進していただきたい。